

## 大崎耕土で農業にチャレンジする 青年就農者を支援しています

大崎市は、青年就農者が県内で最も多く、若者による農業への挑戦が盛んな地域です。3月6日、市内で農業を営む20代〜40代の高い志を歓迎し、夢を応援しようと「第1回大崎市青年就農ミーティング」が開催されました。

ミーティングでは、市の就農支援制度の説明や、新ブランド米『ささ結』のパッケージデザインを手がけた、小坂橋基希氏による講演、就農者同士の交流会が行われました。小坂橋氏からは、農業の本質や深みを探り、アートやデザインの視点から考える経営展開・商品開発など、実例を用いた講演がありました。また、商品広告に注目が集まっていますが、消費者が「質」を求めていることを読み取り、農業の可能性を広げてほしいと、青年就農者への応援もいただきました。



▲交流会では、就農者が生産した農産物がふるまわれました。写真はイチゴを使った揚げ物



▲講師の小坂橋氏は、山形を拠点に全国の商品デザインなどを手掛けています

「大崎耕土」では、先人から受け継いできた水管理システムや、農業の知恵が地域に定着しており、現代の農業者を支えています。市では、自然環境に恵まれた大崎耕土で農業を営む青年就農者を、今後も支援していきます。

## 市の花・木・鳥、市民歌で一体感を高める パートナーシップ会議報告会が行われました

3月8日、市の花・木・鳥等普及事業に関するパートナーシップ会議による「おおさき！花木鳥フォトコン」の開催報告および表彰と「ぐるつと大崎一周すころく」の完成報告会が行われました。この会議は、各地域のまちづくり協議会の推薦者などで構成され、市の一体感をさらに高めるため、市の花・木・鳥市民歌をどのように活用できるのか、7月から話し合いを行ってきました。

「おおさき！花木鳥フォトコン」は1月に募集を行い、175点の応募がありました。会議の構成員による審査の結果、渡り鳥の楽園である本市を訪れた市の鳥マガンと、岩出山地域で毎年行われている、バルーンフェスティバルの気球が一枚に収められた作品が最優秀賞に選ばれました。受賞した斎藤やす子さんには「これからも大崎の魅力と、

市の花木鳥を一枚に収めた」と話していました。また、「ぐるつと大崎一周すころく」は、各地域の観光地や特産品をすころくで巡れる内容で、子どもから大人まで気軽に大崎の魅力に触れることができます。今後、市内の小学校などに配布していきます。これからの季節は、市の木「桜」が各地域で見ごろを迎えます。花見での集いや交流をとおして、市の一体感を感じてみませんか。



▲花木鳥フォトコン最優秀賞の斎藤さん。受賞作品「がんばる〜ん」と入賞作品は、市ウェブサイト (<http://www.city.osaki.miyagi.jp/index.cfm/10,0,25,406.html>) に掲載します。

## Discover Osaki

### 地域発 お・ら・ほ・の・ま・ち

自分の住む地域を「おらほ」というと、親しみや愛着を感じませんか。おらほの地域づくり、おらほの隠れた名所、おらほの美味しい特産品、おらほの伝統のまつり、おらほのイベント……。そんな、愛してやまない「おらほの地域」を発信します。



### 鳴子温泉発

#### 春の息吹を感じながら、おくのほそ道を歩く

3月11日、鳴子公民館が主催する「かんじきで歩こう〜おくのほそ道」に、市内外から39人が参加しました。

冬の生活用具として使われてきた「かんじき」を履き、山形県境の堺田から中山宿までの約4キロメートルの道のりを歩きました。

松尾芭蕉の紀行文「おくの細道」によると、芭蕉がこの道を歩いたのは7月ころ。芭蕉も知らない冬の道を体験しました。

緩やかな起伏の続く道は、新緑や紅葉の季節とはまた違った顔を見せました。澄んだ空気に恵まれ、ブナ、ナラやハンノキなどの雑木林の中を進むと、ウサギやカモシカ、リスなどの足跡を見ることができました。また、こけしの材料となるミズ



キなど木々の芽吹きが見られたりと、自然の中に春がすぐそこに感じられました。

親子連れの参加者は、子どものペースに合わせて時には手を取りながら、ゆっくりと最後まで歩くことができました。



ウィンタースポーツとは一味違った冬の自然体験を楽しんだ1日でした。



### 岩出山発

#### 女子力・男子力アップ！ 缶詰を使った料理に挑戦

3月9日、岩出山地区公民館が主催する「女子力UP講座＆男の料理教室」が行われ、男女チームで「サバのみそ煮缶詰で作るトマトソースパスタ」「ツナ缶のハンバーグ」など、家庭に備蓄してある缶詰を活用した料理に挑戦しました。

1年間を通じて、それぞれの講座で女子力や男の料理を学んできた受講生が、この日は合同で料理を学び、女性陣が調理方法のアドバイスを男性陣に送ったり、男性陣が率先して料理を盛り付けたりと、互いに協力して料理を楽しんでいました。

参加した男性陣は、普段から手軽にできる酒のつまみなどを作っているそうで、「料理のレパートリーが増えるとうれしい」と話してくれました。



▲料理をしながら、こだわりの調理方法や、旬の食材のおいしい食べ方など、料理好き同士で話が弾みます。

21日	18日	16日	14日	9日	8日	7日	6日	4日	2018
●岩出山地域小学校5校の合同開校式・各小学校閉校記念式典	●防災気象講演会	●大崎市消防団小型消防ポンプ付積載車交付式	●大崎地区公民館の指定管理協定合同調印式	●第8回おおさき観光写真コンテスト表彰式	●大崎市創設シンポジウム	●グリーンエネルギーフォーラム・大崎	●第1回大崎市青年就農ミーティング	●第1回大崎地酒祭り2018	3月の主な出来事



▲市から消防団へ、小型消防ポンプ付軽積載車7台、小型消防ポンプ付普通積載車1台を交付しました。